

物語のふしぎ

さて、物語をひとつ書いてみます
テーマ「現代版 もも太郎」

はじめ はじめ

あるところに裕福な家庭に普通に生まれたもも太郎という男の子が居ました。めくめくと育ち大人になって冒険家となり世界中を... ある時、無人島でなんと! 宝の山を見つけ さらに裕福に暮らしていきました。
おしまい

いかがでしょうか?

あなたは違和感を感じたことでしょうか
そしてたくさんのご指摘があることでしょうか

例えば

- ・ 話が短すぎる おもしろくない
- ・ 木から生まれていない
- ・ 裕福 → 裕福はおかしい 等々

しかし

最大の違和感(問題点)は
鬼が出てこないこと!!

苦労しないで宝をゲットしたことだと思いませんか?

どうなんですか!

人々は物語を考える上で **必ず**

苦労して、努力して → ごほうび、宝の山、成功

戦いに一度負けて → 最後に勝つ

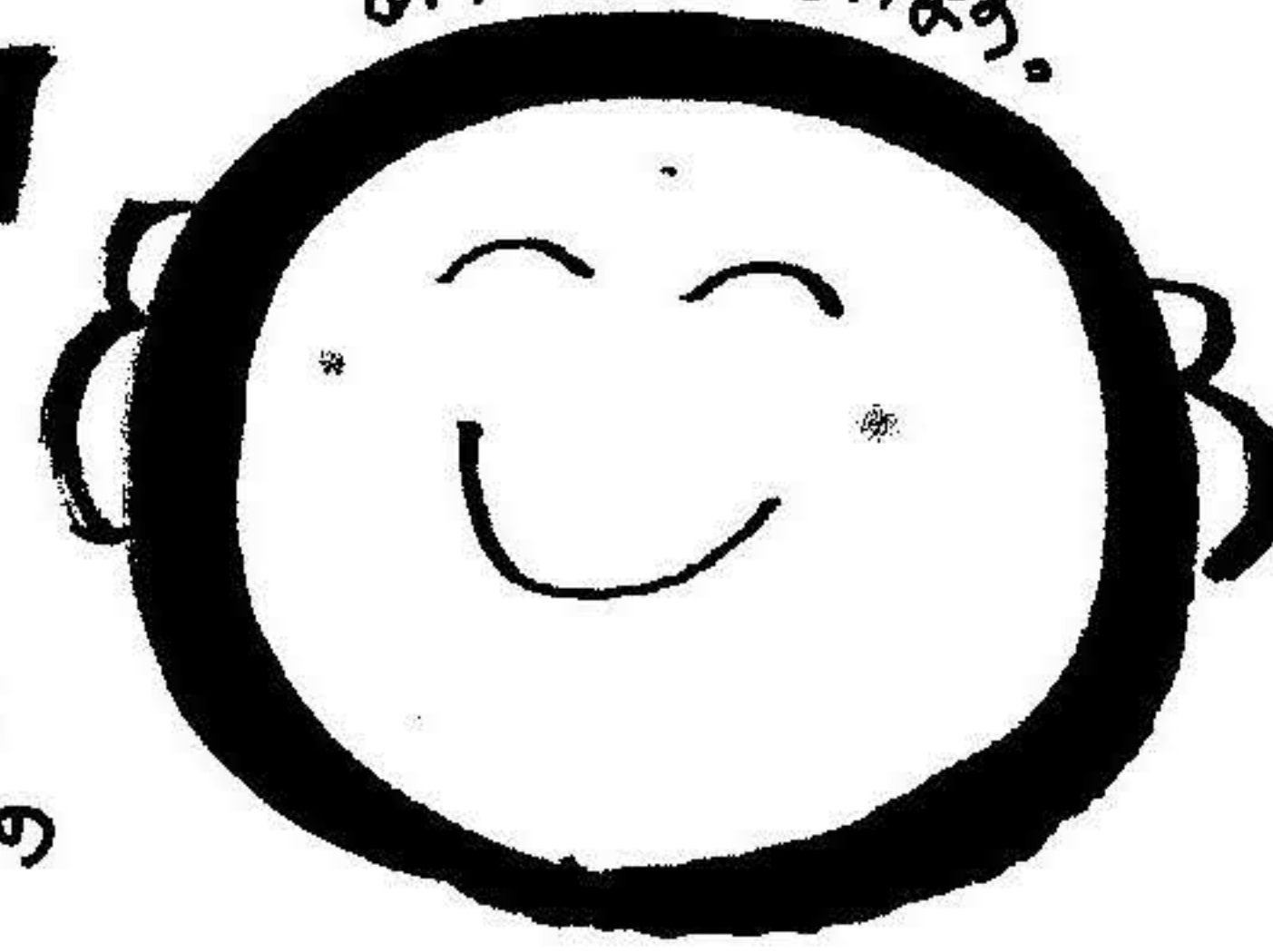
辛い思いをして **涙** → ハッピーになる ☺

等々の方程式を多くの人がしっかりと潜在意識に持っています。



お地蔵さん だよ

ありがとうございます。



2013年6月

作者: あなたの保険・人生を一緒に考えるアドバイザーの鳥越介順

系書き

やさしいなごに

自分たちの人生をイメージするときにこの物語の方程式を使い、必ず鬼(苦労)が登場させてしまいます。そうすることでイメージ通りのりっぱな鬼(苦労)が出てきてしまいます。

ひょっとしたらこの方程式は正しくないかもしれません。

鬼を倒さなくても幸せはあるのです。
(幸いに、苦労をイメージしなくても成功や幸せはあるのです)

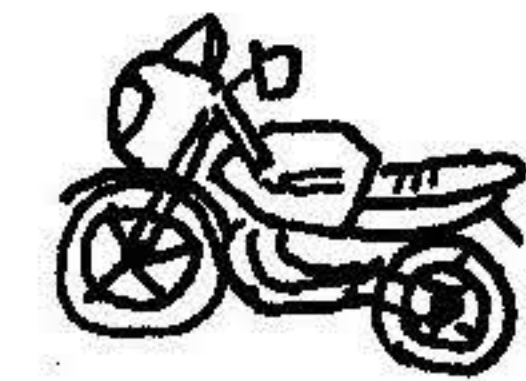
さあ、これからの人生を考える上で頭の中にイメージできている鬼を消してもいいのであつよ!!

小さいころに読んだ物語の影響で

大人になつた

大学2年生の息子がバイクを購入したようで息子が「系内車に合わせて保険に入りたいけどどうしたらいい?」と連絡があった。

私「まかせとけ!! 見積もってみると若いからいい値段あるぞ」



見積もってみると月々13,390円 うわあ!!

息子に保険料を伝えると

息子「思ったより安いわ、そねお願いするわちゃんとお店から乗って帰るようにお願いします!」

私「分かったぞ!」 ☺

その時私は大人になったなあしっかり考えるんだなあと感じた。

ソニックジャパン金沢支店 支店長
(社)生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会(JAIFA)
前本部副会長、石川県協会相談役(前会長)

鳥越介順(とりごえ かいじゅん)